

# 別子山公民館



## 令和6年2月号

### 地域文化の伝承活動『ようかん』作り

・・・別子校区まちづくり推進委員会・・・

1月24日（水）地域文化の伝承活動として、別子山地域で古くから行われてきた「ようかん作り」を再現いたしました。

この事業活動は、これまで何世代も受け継がれてきた地域文化を守り継承するための事業で、ともすれば消えてしまう食文化に焦点を当て、一つ一つ再現し冊子化する事で、次世代に継承する事を目的に行いました。

先ず「ようかん」の歴史から言えば、そもそも「餡」を使った和菓子は日本独自の文化ですが、「羊羹」は大陸生まれの汁物であるということを皆さんご存じだったでしょうか!?

とても興味深い言い伝えがあるそうです。読んで字のごとく「羊」の「羹（あつもの：熱い汁物）」とあるように、もともと羊の肉を煮込んだものを指していました。

日本には、鎌倉から室町時代に中国に留学した禅僧によって「点心」食事と食事の間に食べる間食の一つとして伝わったのですが、禅僧は肉食が禁止されていたため、精進料理として羊肉を小豆と見立てて作られるようになり、これが冷めると煮凝りになる様が、日本の羊羹の始まりと言われているそうです。

初めの羊羹は、小麦粉やくず粉使う蒸し羊羹が主流でしたが、時代と共に砂糖の希少性が薄れ、砂糖を沢山加えて日持ちを良くし保存食として重宝されたそうです。

今回も、これまで別子山地域で作られて来た食文化と言う事で、地域の方に講師をお願いし実施いたしましたが、食材として欠かせない「小豆」も講師の方が自分で準備してくださり、一つ一つ丁寧に説明しながら再現していただく事が出来ました。時間をかけ出来上がった「ようかん」は、見た目も味も良く最高でした。

今後この様に、次世代に受け継ぎ残す活動を冊子化して行きたいと思います。

ご協力頂きました皆さんありがとうございました。

作り方の一場面を写真付きでご紹介しておきます。



小豆をたっぷり煮込んだ状態です。



煮込んだ小豆を冷まし網で磨り潰しボールで受けます。



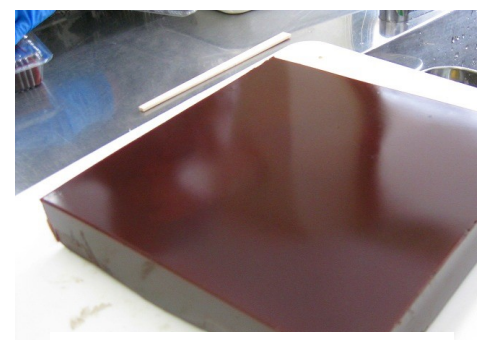
搾り出した、こしあん完成



こしあんを鍋に入れ煮込む



ねりあん完成



ねりあんを1時間程冷まして『ようかん』完成

### 第63回 新居浜市公民館研究大会の開催予定

公民館及び交流センターは、これまで「人づくり・地域づくり」の拠点として重要な役割を担ってきた。しかし、人口減少や高齢化の進展、AI等の急速な技術革新、地域コミュニティの弱体化等により、公民館の存在意義が改めて問われている。このような中、社会の持続的発展に向けた地域課題解決のため、学習活動の拠点として地域課題への対応や地域コミュニティの再生を念頭に、当面する諸課題について研究協議を行い、公民館活動の充実・発展を目指します。

1 日程 令和6年3月2日（土）9：30～

2 場所 新居浜市民文化センター 中ホール

3 参加者 公民館・交流センター職員、学校関係者  
公民館運営審議委員（他）

4 大会主題 「支え合い、助け合う、地域づくり」

サブテーマ ～人づくりのための公民館の役割～



## 市営住宅入居者募集（申込み）

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

■配布期間：令和6年2月1日（木）～令和6年2月19日（月）

■申込期間：令和6年2月5日（月）～令和6年2月19日（月）

※申込は窓口のみになります（郵送、メール不可）。

■募集团地：①南小松原、②高津、③新田、④新田第二、  
⑤北新町、⑥西の土居、⑦新須賀、⑧西原、  
⑨治良丸南、⑩治良丸、⑪横山南、⑫横山北、  
⑬松原、⑭東田

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理グループで配布している、市営住宅入居者募集要領をご確認ください。

■申込条件：市営住宅入居者募集要領にてご確認ください。

■問合せ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目6番37号

横山ビル1階 ☎0897-47-5218

## 移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が、別子山地区にやってきます。  
みなさん是非ご利用ください。

2月は、15日（木）に巡回します。

別子小中学校 13:00～14:00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館

Tel. 0897-32-1911

## 少年の日記念行事「もちつき」にご協力を!!

この度、別子中学校は少年の日記念行事「もちつき」を実施いたします。

中学2年生で14歳となった者が「自覚・立志・健康」を願う日で「少年式」が各地で開催されます。

少年式が行われているのは愛媛だけという話もごさいますが、古くから行われている行事で、当時私も参加した思い出がございます。懐かしい!!

皆さんも参加可能な方は、お手伝いをいただき、中学2年生を共に祝い、励ましていただけたらと思っています。



日時：令和6年2月2日（金）9:30～

場所：別子山ふるさと館

※作業に支障のない服装でお願いいたします。

## 雪道・アイスバーンの安全走行・ワンポイント

- ・急ブレーキ、急アクセルなど、“急”のつく運転はしない。
- ・下り坂は、エンジンブレーキ活用で慎重に運転する。
- ・前方との車間距離は常に多めに取らしましょう。
- ・乗車したら、ブレーキテストを行いましょう。



“「ゆるやか」「ゆっくり」操作を心掛けて運転”  
動き始めも加速・減速も「ゆるやか」「ゆっくり」  
をキーワードに慎重な操作を。

そして普段より車間距離をあけて、余裕を持った運転を心掛けましょう。

## 主事補のひとりごと

皆さんこんにちは、別子山公民館の小山でございます。冬至も過ぎて日照時間は徐々に長くなっていますが、寒さはこれからが本番のようです。そろそろ別子山に大雪が降るのではいかと身構える今日この頃ですが皆様は如何お過ごしでしょうか。

私は、先日 内子町にあるバイオマス発電所を見学してきました。内子町では人間生活と自然環境が調和し共生する資源循環型社会の形成をめざした「内子町バイオマスタウン構想」に取り組んでいるそうです。

バイオマスタウン構想の目玉は、木質ペレットを燃料にした小規模バイオマス発電で、その能力は一般家庭約3,000世帯分の電力を創出できるとのことでした。

発電の燃料に使用している木質ペレットは、地元の森林組合から供給された未利用材を原料とし町内にある工場で製造しているため、町内面積の77%を占める山林原野の資源活用やエネルギーの地産地消、雇用創出等々の効果がでていたとのことでした。

また、住民の方が未利用材を特定の収集場所に持込むと、地域通貨である「ドン券」をもらえる仕組みもあり、地元経済の好循環を生む試みもなされていました。

昔、別子山村でも森林組合が水力で発電した電気を村内全域に供給していたと聞きます。現代の基準で考えても化石燃料に頼らないクリーンエネルギーの地産地消を実現していた先進的な取り組みであり、誇らしい気持ちになりました。（おわり）

## なかよしのねごと

先日は、今シーズン最強寒波の襲来で一日中マイナスの気温で、雪も積もりました。

さらに強風が吹きあれ体感温度は急降下してしまいました。寒さに弱い私にとってつらい一日でしたが、真冬ですからしょうがない!?

ちょうどこの寒い日は、地域文化の伝承活動「ようかん作り」という事で、極寒の中朝早くから食文化に詳しい皆様にお集まりをいただき、古くから受け継がれてきた作業の様子を再現していただき冊子に収めることができました。これからも、様々な地域文化を再現したいと思いますので、よろしくご指導をお願いいたします。

さて、2月と言えばもうすぐ節分ですね、昔の日本では、春は一年の始まりとされ、特に大切にされたようです。

地方によって節分は「年取りの日」とされており、節分にひとつ年を取ると考えられていたそうで、「節分に年の数だけ豆を食べる」という風習が残っているとされています。自分の年齢の数だけ豆を食べると、身体が丈夫になって病気になりにくくなるといういわれがあります。ですが、年の数だけと言いますと、私の場合大量に食べなければなりませんねえ…!!

立春と同時に、季節も徐々に春めいてまいりますが、まだまだ朝晩の冷え込みは厳しいものがございますので、皆さんも無理をせず御身体には十分注意してお過ごしください。

